

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
玉東町	山北南部地区(西安寺・原倉西・原倉東)	令和3年3月5日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	504.49ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	299.71ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	99.12ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	57.57ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.70ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	7.65ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>今後中心経営体が引き受けざる意向のある耕作面積よりも、70才以上で後継者未定の農業者の耕作面積の方が50ha多く、新たな農地の受け手の確保が必要。耕作放棄地の増加と野生鳥獣による農作物被害が課題となっている。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>西安寺集落の農地利用は、中心経営体が担うほか入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>
<p>原倉西集落の農地利用は、中心経営体が担うほか入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>
<p>原倉東集落の農地利用は、中心経営体が担うほか入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	面積	農業を営む範囲
計	181経営体		348.4 ha		5.5 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

鳥獣被害防止対策の取組方針

鳥獣被害対策については補助事業等を活用しながら、積極的に侵入防止柵等の共同設置に取り組む。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

農地の所在	貸付け等の区分(㎡)		
	貸付け	作業委託	売渡
山北部南部地区内 655筆	682,404	0	407,571